

フォーラム21 社会人講話から学んだこと

校友時報

平成19年9月18日
Will Project 社会人講話特集号
編集人 兼 発行人
秋田県能代市高城2番1号
秋田県立能代高等学校新聞部
印刷所 年二んどう印刷

広い世界を知ろう

九月五日に行われた社会人講話では、各企業のトップの方々を招き、豊富な体験を味わうことができた。三年生は、一時間自分の参加だったが、お昼休みに校長室へ行って質問をすれば、意欲的な態度が目立っていた。一年生は二時間ずつの講義を受け、いつもとは違う雰囲気や多少戸惑いもあったが、めったにない機会から何を学ぼうという姿勢が見られた。この講話から生徒たちは何を感じたのか、各学年の代表に感想を書いてもらった。

9月5日(水) 日程

全学年

1	自己紹介
2	2年生 懇話会ディスカッション
3	3年生 懇話会ディスカッション
4	1年生
5	全体講評

放課後

一年A組 館岡 恵さん
今回の講話は文系の職業が多く、正解を持っていく心配だった。しかし、実際は「あ、この仕事面白そう」と思っていて、様々な職業に興味を持つことが出来た。また、専門知識は必要だが、一般教養はもっと大事だと分かったので、高校では基礎知識を十分に身につけたいと思う。

一年D組 伊藤 ななせさん
「仕事では人と人とのコミュニケーションが一番大事で、それは高校生活の中で身につく」と教えてもらった。また、今は将来の仕事のしたいのイメージを持ち、そこから進路を決め、可能性のある職業を選択するのをもっと分かっていた。自分に合った職業はこれから考えていきたい。



菅岡 恵さん
(セコム)



放課後 全体講評

二年A組 浅理 翔さん
大きな企業の話や、自分の考えや価値をより明確に持ち、それを他人に理解してもらいやすいようにすることが大切だと分かった。高校生の今は、広い分野に目を向けて、そこからたくさんの知識を得たい。

二年F組 木村 仁士さん
初めは一流企業の方の話で、あまりにも無関係な話ではないかと思っていたが、常に見るために役立ちたいという気持ちを持って頑張りたいと思う。



浅理 翔さん
(三井不動産)



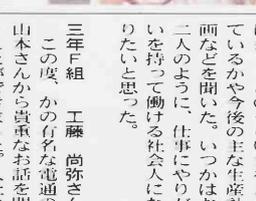
洋介さん
(ホンダ)

二年E組 西村 大夢さん
ホンダの成田さん東レの高林さんに話を伺って、職業に対する自分の視野が広がった気がした。お二人からは、会社が航空機に対して、どのくらい力を入れているのかや今後の主な生産品などを聞いた。いつかはお二人のように、仕事にやりがいを持って働ける社会人になりたいと思った。

三年F組 工藤 尚弥さん
この度、かの有名な電通の山本さんから貴重な話を聞くことができた。入社の際の面接の話や、最近の採用傾向など具体的な話を下さり、今まで目先の大学のことしか考えられなかった僕にとってはかなり刺激的でした。まさに僕の将来に電気を通ったかのようでした。



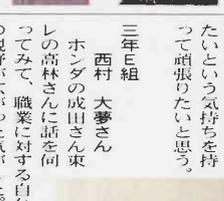
西村 大夢さん
(NTT)



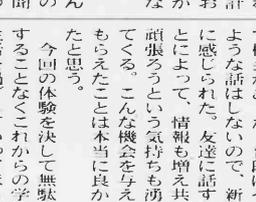
和明さん
(東レ)

二年E組 齋藤 大輝さん
今回の社会人講話で、一番感じたことが、自分の会社、仕事に誇りを持っているということ。また、社会に貢献したいという気持ちで働くことが大切だと分かった。自分も将来企業で働きたいと考えているので、常に人のために役立ちたいという気持ちを持って頑張りたいと思う。

三年E組 大野 雅宏さん
（日本生命）
際の際の話や、最近の採用傾向など具体的な話を下さり、今まで目先の大学のことしか考えられなかった僕にとってはかなり刺激的でした。まさに僕の将来に電気を通ったかのようでした。



大野 雅宏さん
(日本生命)



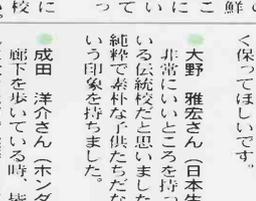
和明さん
(東レ)

三年E組 大野 雅宏さん
（日本生命）
際の際の話や、最近の採用傾向など具体的な話を下さり、今まで目先の大学のことしか考えられなかった僕にとってはかなり刺激的でした。まさに僕の将来に電気を通ったかのようでした。

三年E組 大野 雅宏さん
（日本生命）
際の際の話や、最近の採用傾向など具体的な話を下さり、今まで目先の大学のことしか考えられなかった僕にとってはかなり刺激的でした。まさに僕の将来に電気を通ったかのようでした。



大野 雅宏さん
(日本生命)



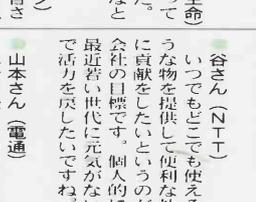
和明さん
(東レ)

三年E組 大野 雅宏さん
（日本生命）
際の際の話や、最近の採用傾向など具体的な話を下さり、今まで目先の大学のことしか考えられなかった僕にとってはかなり刺激的でした。まさに僕の将来に電気を通ったかのようでした。

三年E組 大野 雅宏さん
（日本生命）
際の際の話や、最近の採用傾向など具体的な話を下さり、今まで目先の大学のことしか考えられなかった僕にとってはかなり刺激的でした。まさに僕の将来に電気を通ったかのようでした。



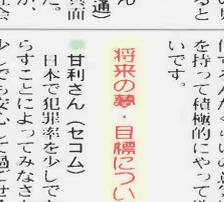
大野 雅宏さん
(日本生命)



和明さん
(東レ)

三年E組 大野 雅宏さん
（日本生命）
際の際の話や、最近の採用傾向など具体的な話を下さり、今まで目先の大学のことしか考えられなかった僕にとってはかなり刺激的でした。まさに僕の将来に電気を通ったかのようでした。

三年E組 大野 雅宏さん
（日本生命）
際の際の話や、最近の採用傾向など具体的な話を下さり、今まで目先の大学のことしか考えられなかった僕にとってはかなり刺激的でした。まさに僕の将来に電気を通ったかのようでした。



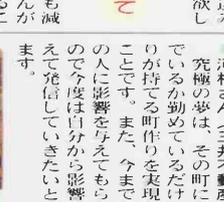
大野 雅宏さん
(日本生命)



和明さん
(東レ)

三年E組 大野 雅宏さん
（日本生命）
際の際の話や、最近の採用傾向など具体的な話を下さり、今まで目先の大学のことしか考えられなかった僕にとってはかなり刺激的でした。まさに僕の将来に電気を通ったかのようでした。

三年E組 大野 雅宏さん
（日本生命）
際の際の話や、最近の採用傾向など具体的な話を下さり、今まで目先の大学のことしか考えられなかった僕にとってはかなり刺激的でした。まさに僕の将来に電気を通ったかのようでした。



大野 雅宏さん
(日本生命)

和明さん
(東レ)

能高生へのメッセージ

放課後は校長室で講師の方々へアンケートする事ができた。アンケートの間に講師の方々の細やかな気遣いや、オーラが感じられて、このように立派な方々だから大きな仕事を任せられるのだと思った。

「能高高校生の印象について」
「将来の夢、目標について」を聞かせてもらった。

能高高校生の印象について
甘利 康文さん(セコム)
最初に想像していたよりもはるかに皆さん色々と考えていました。これから色々な世の中や社会人を見て、選択肢を広げていけばいいと思います。

谷 誠さん(NTT)
みなさん正直だと思いました。自分の可能性は無限にあるというところ自信を持って、その上色々な所に目を向けることも世の中の見方が変わってくると思います。

山本 浩一さん(電通)
皆さんすごく真面目だと思いました。うまく息抜きすることも社会人になってから非常に役に立ちます。そのバランスをうまく保ってほしいです。

大野 雅宏さん(日本生命)
非常にいいところを持っていて、伝統校だと思いましたが、純粋で素朴な子供たちだという印象を持ちました。

成田 洋介さん(ホンダ)
廊下を歩いている時、皆さんに大きな声で挨拶されて気が

持ってきた。今は好きだからこの仕事かという考えがもつてあってもいいと思います。

高林 和明さん(東レ)
皆さん、世の中のためにやりたい」と思う意識がすごく強くて驚きました。大人になるとその気持ちが薄れてしまいがちなので、ぜひ大事に長く持ち続けてほしいです。

成田 洋介さん(ホンダ)
日本の生産現場で毎日生き甲斐を持って働くことが、自分の心や現場も進化させられる世界のエッセンスとなるような物作り工場を作りたいです。

高林 和明さん(東レ)
世の中をよりよい新しい価値の創造を通じて社会や環境問題にも貢献する楽しさをもっと味わいたいですね。

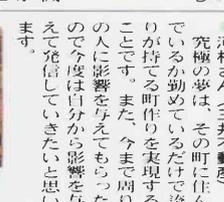
河村 隆司さん(三井不動産)
究極の夢は、その町に住んでいられるだけで誇りが持てる町作りを実現することです。また、今まで周りの人に影響を与えてもらったので今度は自分から影響を与えて発信していきたいと思っています。



山本さん(電通)

三年E組 大野 雅宏さん
（日本生命）
際の際の話や、最近の採用傾向など具体的な話を下さり、今まで目先の大学のことしか考えられなかった僕にとってはかなり刺激的でした。まさに僕の将来に電気を通ったかのようでした。

三年E組 大野 雅宏さん
（日本生命）
際の際の話や、最近の採用傾向など具体的な話を下さり、今まで目先の大学のことしか考えられなかった僕にとってはかなり刺激的でした。まさに僕の将来に電気を通ったかのようでした。



大野 雅宏さん
(日本生命)

和明さん
(東レ)

座談会 進路指導主事 藤原先生に聞く

第二七二号校友新聞の発行にあたって、定期考査について藤原先生にお話を聞いた。その時、定期考査をはじめWill Projectの取り組みをあまり理解していないと気がついたので、新聞部と藤原先生で座談会を開き、意見を交換した。

定期考査のシステムや will project について

新問：定期考査のシステムを考えてお話を聞かせてください。今までの定期考査と比べて、どのような変化がありましたか？

藤原：昨年度からいろいろな事を議論してきました。例えば、〇〇大学の問題レベル、〇〇大学の教科書程度の問題なら「1」と評価してもいいんのかな。授業で教えたことの評価と、大学入試レベルの実力評価は分離すべきじゃないかという意見や、それだと生徒が勉強しなくなるのでは？という意見など、いろいろな意見がありました。



でも、授業の内容はこれまで通りのレベルを維持するものであって、それに合わせて授業のレベルも下げたという話ではないので、そこはご理解していただくといいですね。

新問：定期考査は教科書中心の内容と、大学入試対応の問題は圧縮して評価するということになりました。

藤原：成績がよくなるって思うんですけど、追試でも必要じゃないかと気がしています。

新問：定期考査は、今までの定期考査と比べて、どういった変化がありましたか？

藤原：今までの定期考査は、教科書の内容と、大学入試の内容とを分けて評価していましたが、今回は教科書の内容と、大学入試の内容とを統合して評価する方向で進めています。

新問：定期考査の結果、生徒の勉強意欲は変わりましたか？

藤原：結果的に、生徒の勉強意欲は変わりました。特に、大学入試の内容と、教科書の内容とを統合して評価する方向で進めているので、生徒の勉強意欲は変わりました。

新問：定期考査の結果、生徒の勉強意欲は変わりましたか？

藤原：結果的に、生徒の勉強意欲は変わりました。特に、大学入試の内容と、教科書の内容とを統合して評価する方向で進めているので、生徒の勉強意欲は変わりました。

新問：定期考査の結果、生徒の勉強意欲は変わりましたか？

藤原：結果的に、生徒の勉強意欲は変わりました。特に、大学入試の内容と、教科書の内容とを統合して評価する方向で進めているので、生徒の勉強意欲は変わりました。

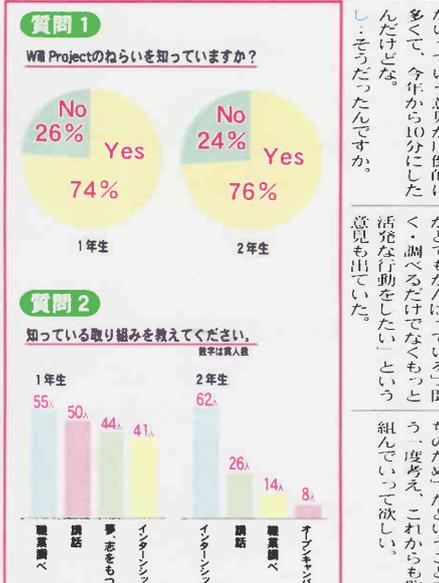
新問：定期考査の結果、生徒の勉強意欲は変わりましたか？

藤原：結果的に、生徒の勉強意欲は変わりました。特に、大学入試の内容と、教科書の内容とを統合して評価する方向で進めているので、生徒の勉強意欲は変わりました。

新問：定期考査の結果、生徒の勉強意欲は変わりましたか？

藤原：結果的に、生徒の勉強意欲は変わりました。特に、大学入試の内容と、教科書の内容とを統合して評価する方向で進めているので、生徒の勉強意欲は変わりました。

試の問題もいれて勉強させなきゃだめだということになり、今は教科書レベルと、模試レベルを分離して出題する方向で進めています。今でも、定期考査は、教科書の内容と、大学入試の内容とを統合して評価する方向で進めています。今までの定期考査は、教科書の内容と、大学入試の内容とを分けて評価していましたが、今回は教科書の内容と、大学入試の内容とを統合して評価する方向で進めています。今までの定期考査は、教科書の内容と、大学入試の内容とを分けて評価していましたが、今回は教科書の内容と、大学入試の内容とを統合して評価する方向で進めています。



能代高校の意識調査からみた現状 Will Projectが開始してから5ヶ月が過ぎた。能代高校はWill Projectについてどう思っているのか。また、生徒たち何らかの変化はあったのだろうか。時点での生徒の意識調査をしてみた。七月三日、八月一日実施し、一、二年生を対象に、Will Projectのねらいを知っているか、質問二、知っている取り組み、質問三、Will Projectをどう思うか、の三問を聞いてみた。